

令和元年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

| | |
|-------|---------------|
| 学校番号 | 学 校 名 |
| 63-10 | 関市立関商工高等学校定時制 |

| | | |
|---|--|--|
| 学校教育目標 | 「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を目指します。 | |
| < 教育指導の重点 > 今年度の具体的な重点目標 | 重点目標の達成に必要な具体的取組、方策 | 達成度の判断、判定基準あるいは評価指標 |
| <基礎学力の育成> 1 わかる授業、学ぶ楽しさを実感できる授業を推進して、基礎・基本的な学力の定着と、自ら学び自ら考える力の育成を目指します。 | ① 学習内容や到達目標を明確にし、生徒が主体的に参加する授業実践に努めます。 ② 学力レベルに合わせた習熟度別授業、日本語が不得意な生徒への配慮、専門科の実習における少人数指導を通して、基礎学力の定着と学習意欲の向上に努めます。 ③ 「学び直し」の機会を設け、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るように努めます。 | ① 生徒の授業に向かう態度を毎時確認し、授業評価やアンケート等で検証します。 ② 各種テストを実施し、基礎学力の向上ができたか検証します。 ③ 生徒の学力に応じた個別指導を実施し、生徒の反応を見ながら、工夫を重ねます。 |
| <健全な生徒の育成> 2 基本的な生活習慣の育成と、豊かな人間性と社会性の伸長に努めます。 | ① 欠席、遅刻、早退の防止と時間を守る指導に努めます。 ② 限られた時間の中で生徒一人一人を正しく深く理解し、信頼と愛情のある指導に努め、個々の生徒に応じた指導と助言を行います。 ③ 懇談会や教育相談の機会を多く設定し、生徒一人一人の成長にあわせてアドバイスできるような信頼関係の構築に努めます。 | ① 欠席、遅刻、学籍異動を減らすことができたか。 ② マルチ検査、テストバッテリーM2プラス、迷惑調査の結果の追跡調査を行い、指導に生かします。 ③ 生活体験発表会等で、生徒が自己の生活を振り返り、将来の目標を語れるようになったか。 |
| <社会人として資質の育成> 3 早い段階から将来の自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成に努めます。 | ① 1年次からの組織的・計画的なキャリア教育を実施し、正しい勤労観・職業観を育成します。 ② 生徒一人一人の適性・希望等を把握し、ガイダンス機能の充実と進路決定がスムーズに行えるよう努めます。 ③ 各種団体との連携を強めて、本校の教育活動の理解と協力を深めます。勤労体験を通して、生徒の勤労観・職業観を育成します。また、企業訪問等を通して企業の求める人材像の収集に努め、就職指導に活かします。 | ① 学年ごとに進路に関するホームルーム活動を実施し、将来の目標を語れるようになったか。 ② 生徒との話し合いや家庭との連絡を密にし、生徒の適性や希望を尊重することができたか。 ③ 進路先を開拓し、卒業時まで進路を決定することができたか。卒業生の就労状況で検証します。 |